

# 資料 3



## 越谷市一般廃棄物処理基本計画

### ごみ処理基本計画 (令和3年度～令和12年度)

概要版

越谷市

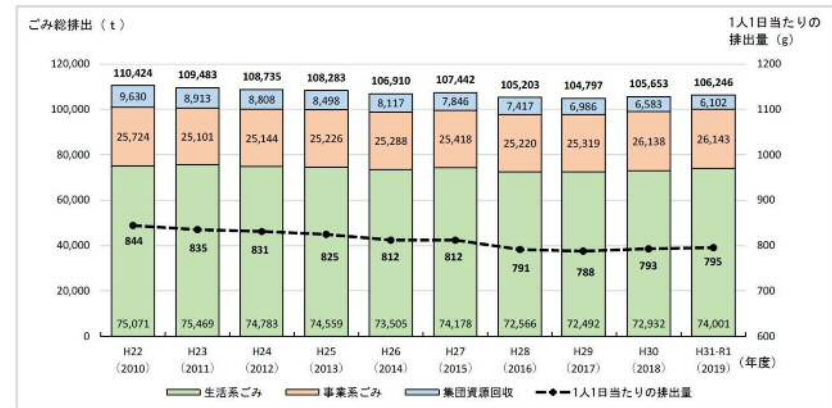
◆越谷市一般廃棄物処理基本計画 ごみ処理基本計画とは  
本計画は、天然資源の枯渇、温室効果ガスの排出による地球温暖化、廃棄物の多様化による処理の困難化などの問題に対処し、循環型社会を目指すため、ごみの排出抑制、減量・資源化と適正処理に関する越谷市の施策を推進するための計画です。

## 今、ごみはどうなっているの？

### ◆ごみ処理量

本市のごみ総排出量は、全体として減少傾向にあります。  
1人当たりのごみの排出量も、平成22年(2010年)の844g/人・年に対して、令和元年(2019年)は795g/人・年と約94%に減少しています。

◆一般廃棄物の年間排出量の推移



### ◆前計画の目標と達成状況

#### 前計画の目標1 ごみ排出量の削減目標(令和2年度(2020年度)目標)

① 1人1日当たりのごみ排出量を800gに削減する  
865 g/人・日 (H21) ⇒ 795 g (H31・R1)

② 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量を611g/人・日に削減する  
645 g/人・日 (H21) ⇒ 587 g (H31・R1)

③ 事業系ごみ排出量を23,499t/年に削減する  
26,093 t/年 (H21) ⇒ 26,143 t/年 (H31・R1)

#### 前計画目標2 再生利用の目標

① 分別の徹底により、リサイクル率を25.4%に引き上げる  
18.2% (H21) ⇒ 17.7% (H31・R1)

#### 前計画目標3 最終処分量の削減目標

① 最終処分量を9,088t/年に削減する  
9,957 t/年 (H21) ⇒ 7,668 t/年 (H31・R1)



さらなる減量を  
目指します！

新しい目標値は  
扉を開いてください！

## 基本計画の柱(理念・方針)

### 市民がつくる 持続可能な資源循環のまち こしがや

#### 基本方針

##### 方針 1

#### 市民・事業者との協働による資源循環の推進

市民・事業者・行政が連携し、ごみの減量・資源化などに取り組めます。さらに、それぞれの役割や責任を果たす中で相互協力し、SDGsの理解促進と行動変革を推進することで循環型社会の構築を目指します。

#### 基本施策

- 1-1 分別の徹底によるごみ減量・資源化の促進
- 1-2 地域一体となった資源化の促進
- 1-3 食品ロスの削減
- 1-4 SDGsの理解促進と行動変革

##### 方針 2

#### 排出事業者等による主体的なごみの減量・資源化の促進

市は排出量の多い卸売・小売業等に向けた減量・資源化マニュアルの作成や資源化業者と排出業者のコーディネートを行い、ごみの適正排出及び資源化を促進します。

- 2-1 事業系ごみの減量・資源化の促進
- 2-2 ごみの適正処理に向けた指導の徹底
- 2-3 事業者への支援体制の充実

##### 方針 3

#### 新たなごみ収集・処理システムの構築

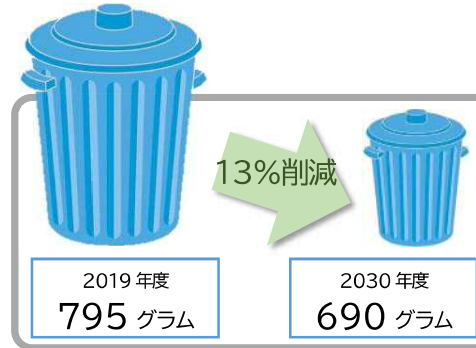
将来を見据え、超高齢社会に対応したごみ収集・処理システムの整備に取り組みます。また、市民や事業者の協力のもと、地域と連携したごみ集積所の管理、まちの美化などに取り組めます。さらに、災害廃棄物の処理計画や業務マニュアルの見直しを行います。

- 3-1 長期展望に基づく収集・処理システムの検討
- 3-2 高齢社会に対応した環境整備
- 3-3 指定袋制度及びごみ処理有料化の検討
- 3-4 きれいなまちづくりの推進
- 3-5 災害廃棄物等処理体制の強化

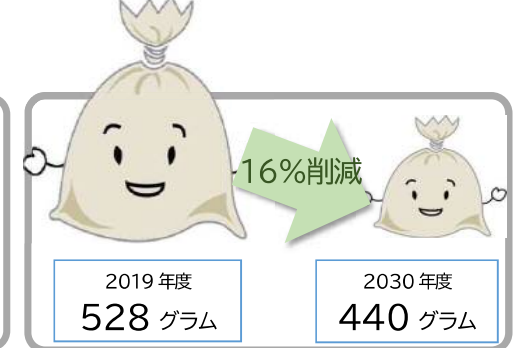
市民・事業者・行政の理解・協力 → 具体的な行動(個別施策)

## 10年後の目標

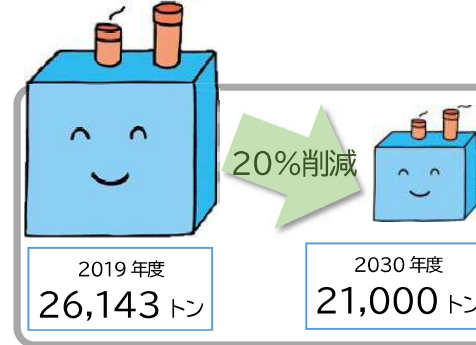
### ◆1人1日あたりごみ排出量



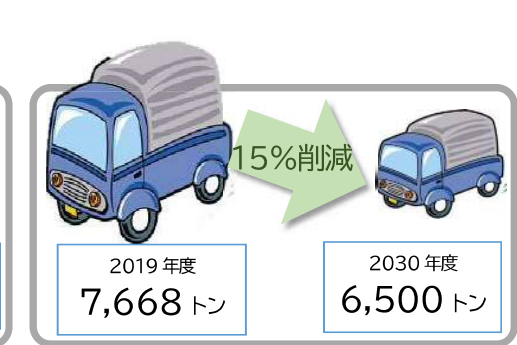
### ◆1人1日あたり家庭系ごみ排出



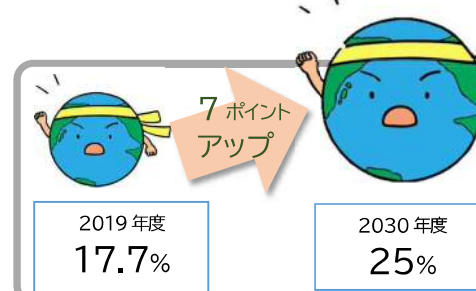
### ◆事業系ごみ排出量



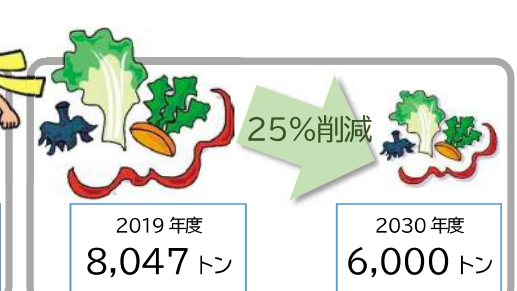
### ◆最終処分量



### ◆リサイクル率



### ◆家庭から排出される食品ロス



目標を達成するためには、市民・事業者・行政の協働による取り組みが必要です

## 目標に向けて市民のアクション！

### ◆食品ロス削減

- ①買い物
- 出かける前に冷蔵庫を整理して必要な食材をチェック！
  - 安いからといって買いすぎ注意！
  - ばら売り・はかり売りを利用しましょう！
- ②調理
- 食べきれぬ分だけ作ろう！
  - 残った料理はリメイクしよう！

- ### ◆雑紙（ざつがみ）などの分別の徹底
- 包装紙、紙箱など、つい燃やすごみに捨ててしまいかちな雑紙も分別すればリサイクルできます！
  - 雑紙は地区センターでボックス回収に出しています！



### ◆プラスチックごみの削減

- マイバック持参でレジ袋は断ろう！
- 日用品は、詰め替え商品を選ぼう！
- マイボトルを持参しよう！
- ワンウェイ製品は使用しない！



### ◆生ごみの水切り

- 生ごみを捨てる時はしっかり水切りをして、ごみの重量を軽くしてから集積所に出しましょう！
- 生ごみは生ごみ処理機で処理したり、段ボールコンポストをしましょう！



### ◆その他生活で（パート1）

- 裏紙をメモ用紙などに使用しよう！
- 家具や家電製品などは、修理して使用しよう！
- ペットボトルは中を軽くすすぎ、キャップとラベルを外し、つぶして出しましょう！

### ◆その他生活で（パート2）

- フリーマーケットやリサイクルショップを利用しよう！
- 家庭で余っている食品などはフードドライブを利用している！
- 自治体のごみ政策に関心を持ち、協力すると同時に、常に問題点について意識しよう！

## 目標に向けて事業者のアクション！

### ◆事務所・オフィス編

- コピー用紙の使用量削減に取り組んでいる
- 筆記用具やのりなどは、詰め替え商品を使用している
- お茶やコーヒーなどは湯飲みやカップを使用してワンウェイ容器の使用量を減らしている
- 封筒・ファイルなどは、内部事務連絡に活用するなど繰り返し使用している

### ◆店舗・飲食店編

- 食品の小分け売り、量り売り等を推進している
- 残飯や調理くずなどの生ごみリサイクルに努めている
- 生産・流通業者に対し、梱包材・包装材の簡素化や引取りを依頼している
- 設置するごみ箱などに適正な表示をし、利用者が分別しやすいようにしている

### ◆卸売業・小売業編

- 商品包装はできるだけ簡単に！
- リターナブルびんやデポジット制の容器を使用・回収している
- リサイクルしやすい素材の商品を積極的に販売している！
- 耐久性が高く繰り返し使える梱包材・緩衝材を使用している

### ◆製造業編

- 寿命の長い製品の開発を推進している
- 製品の原料に再生資源を積極的に利用している
- ごみや資源物の保管場所に十分なスペースを確保している
- 商品の企画を統一するなど、修理・再使用が容易な商品を製造している
- フードバンクなどを活用している

### ◆ホテル・旅館編

- 石けん、シャンプーなどについて、ティスプン容器の採用を推進している
- 食品や物品の仕入れには通い箱を使用している
- 調理を工夫し、無駄な生ごみを出さないようにしている
- ペーパータオル、紙製のおしぼりなどのワンウェイ製品の使用を控える

### ◆興行場編

- 流通用梱包材は、繰り返し使用できるものを採用している
- 缶、びん、ペットボトル、紙コップなどについては、分別容器を設置し、納入業者等に引き渡している
- ダイレクトメールは必要最小限にしている

## 対応すべきこれからの課題は？

### 課題1 ごみ総排出量のさらなる減量



近年は、人口の増加や店舗数の微増に伴う事業系ごみの増加などにより、ごみ総排出量の減少幅は鈍化し、下げ止まりの傾向がみられます。

また、食品ロスやプラスチックごみなどの新たな社会的課題が出てきており、それに対応するためには、市民・事業者・行政が協働し、さらなるごみの減量・資源化に取り組んでいくことが必要となっています。

### 課題2 資源化率の向上

ごみの適正排出と資源物の分別徹底を推進する必要があります。また、店頭回収などの案内も必要です。

少子化や高齢化による自治会などの担い手不足、古紙の市況価格の下落による買取価格の逆有償などの課題があるため、今後も市民が安心して集団資源回収を継続できる仕組みを作る必要があります。



### 課題3 超高齢社会への対応



今後、さらに一人暮らしの高齢者等の増加が見込まれることから、市民のニーズを的確に捉えながら、ごみ出しに関する新たな支援の必要があり、新たに屋内から粗大ごみなどの持ち出しを行うサポートなどを検討する必要があります。

### 課題4 プラスチックごみによる海洋汚染

プラスチックごみ削減に向け、レジ袋やワンウェイプラスチック製品などの使用抑制、ポイ捨て・不法投棄撲滅の徹底及び清掃活動の推進に係る市民への周知啓発を進める必要があります。また、事業者は過剰包装を控えるなどの取り組みも必要です。



## 一人ひとりの意識と行動が「持続可能な資源循環のまち こしがや」を実現します！

「MOTTAINAI」の精神で  
環境3R + Respect = もったいない

Reduce (ごみ削減)、Reuse (再利用)、Recycle (再資源化) という環境活動の3Rをたった一言で表せるだけでなく、かけがえない地球資源に対するRespect (尊敬の念) が込められている言葉、「もったいない」の精神でごみを減量しよう！

正しい分別でごみ減量！

ごみの分別区分や処理方法は各自治体で異なります。越谷市のごみ処理に関する情報は、市のホームページやごみ収集カレンダー、広報等様々な媒体で情報発信をしています。正しいごみの分別でごみを減量しよう！



世界と一緒に取り組もう！  
「持続可能な開発目標」SDGs

ごみの減量・分別の徹底はSDGsに大きく貢献します。特に、食品ロスの削減、プラスチックごみの適正な処理は重要です。みんなで実践しましょう。また、SDGsは特定のゴールの達成を目的に実施した取り組みであっても副次的に他のゴールでも効果を上げることができる場合があります。

経費の節減はごみの減量から

なぜ、ごみを減らすのか？  
それは、ごみ処理には、莫大なお金がかかるからです！だからこそ、「ごみの減量」をしましょう。あなたの、ちょっとしたひと手間が、市にとっての大きな手間（お金・時間・労力）を少なくすることができます

越谷市一般廃棄物処理基本計画 ごみ処理基本計画(令和3年度～令和12年度)  
概要版

発行: 令和 年 月  
編集: 越谷市環境経済部リサイクルプラザ  
越谷市砂原 355  
お問い合わせ先 048-976-5371

